

日蓮大聖人が、はじめて「南無妙法蓮華經」とお唱えになられたのは、建長五年（一二五三）四月二十八日、千葉県安房郡天津小湊にある本山清澄寺の旭ヶ森の山頂でした。太平洋の彼方より暁闇をやぶつてさし上る朝日に向てお題目を十返お唱えになりました。これを日蓮宗では「立教開



かいしゅうせんげん
〈開宗宣言〉

平成十一年三月三十日、
「立教開宗七五〇年慶讃
九州教区大会」が開催され
ます

宗と申します。

以来、大聖人は一生をかけて衆生を救済せんと、お題目を広めてこられました。大聖人の願いは、多くの弟子や、信者達によって今まで唱え継がれて参りました。そして、今まさに立教開宗七五〇年の慶事を迎えようとしています。私達は、このお題目の歴史の重みをかみしめ、今日有り難くもお唱え出来る喜びを忘れてはなりません。

昨今、同じお題目をお唱えしながら人々に不安と迷いを与えていた新興宗教が数多くあります。私達日蓮宗の宗徒は、立教開宗七五〇年を迎える今こそ、日蓮大聖人以來綿々と唱えられた本当のお題目を伝えていく大きな義務があります。

大聖人のお言葉に「地涌の菩薩の出現に非ずんば唱えがたき題目也」、「仏法は体のごとし、世間はかげのごとし、体曲がれば影ななめなり」とござります様に私達は末法の世の中の今、幸いにも値い難き法華経に結縁を頂き、唱題の喜びを味わう事が出来、本当に感謝の念にたえません。少しでも誤った心でお題目をお唱えしますと、大きな罪を作ってしまうのだと戒めておられました。

慈眼

第11号

発行所
小城郡三日月町
仁俣2554 妙蓮寺内
TEL・FAX
0952-72-5805

日蓮宗佐賀
教化センター

発行責任者
辻 智 彰
印刷所 中野印刷所

ます。

さて、この度の慶事に向い、日蓮宗では、「誓願」というテーマで、本当のお題目をお唱える為には、どの様な事を実践していったらよいのかを皆様と一緒に考えて参りたいのです。

「誓願」と一口に申しても色々な事がありますが、日蓮大聖人の誓願は、「我れ日本の柱とならん、我れ日本の眼目とならん、我れ日本の大船とならん」という誓いでございました。まさに我々衆生を救済せんが為の大きな決意であります。

そして、私達の誓願とは、正しいお題目を唱え弘め、お釈迦様の真隨の教えである法華経を受持し、この地上に平和な仏国士を建設する努力を行う事であります。その為には、人々が互いを拌み合い感謝の心を持てる人格を形成していく事が必要であります。

法華経の教えの中に「如來使」というものがあります。法華経、お題目を受持する者は、僧俗の区別なく如来の使いであり、お釈迦様のお使いの役を全する使命があります。

九州教区では来る三月三十日、グランメッセ熊本を会場に各地より五千名もの檀信徒が集い、去る平成九年五月二十八日中央大会に於いて分灯されました「誓願の燈」を中心にして改めて大聖人がお唱えされた「南無妙法蓮華經」のお題目を共に唱え、「如來使」の自覚を高めたいものです。



立教開宗七百五十年
慶讃シンボルマーク

立教開宗750年慶讃 九州教区大会

とき
ところ

平成11年3月30日(火) 開演 午後1時
グランメッセ熊本

※詳細は菩提寺にお尋ね下さい。

【特集】
『日蓮大聖人のご生涯』

混屯とした鎌倉時代には様々な宗派が興りました。その中で法華経こそが最勝の教えであると私達にお示し頂きました日蓮大聖人のご生涯をこれからたどつて参ります。

日蓮大聖人は今から七十七年前、貞応元年（一二二二）二月十六日、安房の国（千葉県）小湊に漁夫の子として生まれになられました。幼名を善日麿といいます。天下分け目の戦いともいわれた承久の乱の翌年の年のことであります。



誕生瑞祥

阿親の許しを送つた善日て、故郷にほど近い清澄寺に入られました。清澄寺は、標高三八三メートルの清澄山の山頂近くにあります。山は海辺からいきなり立ち上がり、上がつては険(けわ)しく、うつそ

是生房蓮長と改められました。善日磨が出家された動機は、「日本第一の智者となしたまえ」、すなわち仏の智慧を求め、お釈迦様の説かれた仏教は一つなのに、なぜ八宗十宗もあるのかという疑問を解明するためには、真理を究めたいという思いか



〈出ゆつかけとくど〉

尽よが徳智本 蔵う虚・恵尊寺でに空慈・はのあ無の悲功、ご しの山の来れ森うた。聖林地よてにと 地修方り、覆しひ行のこ古わた

この神秘体験の後、一切経を見るに八宗ならびに一切経の勝劣が手に取るよう明瞭になつた」といわれる蓮長は、年来抱き続けてきた疑問を説く經典も、自分を導いてくれる師も清澄寺には存在しないことを感じ、りくさん暦仁元年（一二三八）十七歳で清澄山を下りられます。そして、それは、以後十数年に及ぶ研鑽の旅の始まりでもあつたのです。

清澄寺に残る伝説では、この奇瑞を感じた蓮長は堂を退いて階段を下るとき、心身混濁して凡血を吐き気絶して倒れてしましました。その血を吐いた所に黒い斑点のある筐が後で生えたのでこれを「凡血の筐」と呼ばれています。つまり、凡夫の血を吐き捨て仏弟子として歩み始めたのことを示す象徴的な出来事だったのです。

らのことでした。清澄寺での修行は、まず第一に学問・思索であり、天台密教の加持祈祷、そして当時の一般信仰である念佛往生（仏の姿や功德を心に思い浮かべ、口で阿弥陀仏の名を唱えることでした。そして、往生とは極楽浄土に生まれ変わることを指します。つまり「南無阿弥陀仏」と唱えながら来世に望みを託すこと）の修行でした。が、その様な中でも暇さえあれば虚空蔵堂に籠られご宝前で祈らされていだ蓮長の前に奇瑞が表われたのです。それは、虚空蔵菩薩が眼前に高僧となつて現れ明星のような智恵の大宝珠を授けて下さった、といふものです。

花と葬儀 木下株式会社
平安閣冠婚葬祭互助会

OMEGA ALPHA SAAL
木下株式会社

草苑 (SOU-EN)

北佐賀草苑

佐賀市兵庫町藤ノ木1115
(0952) 3

南佐賀草薙本庄

佐賀市本庄町大字本庄951 (0952) 2

30-4040

25-1255

自 所 無 無 無
我 経 紋 紋 紋
得 載 阿 千 千 千
仏 劫 僧 千 千 千
來 紋 紋 紋 紋 紋

[訓読]

「我れ仏を得てよりこのかた、
経たる所の諸の劫数、

無量百千萬、
億載阿僧祇なり

この経文は妙法蓮華經如来寿量品第十六の偈文の初まりの句です。

日蓮大聖人は『法華經』を根本聖典として宗旨を建立されましたが、その中でも「如來壽量品」を最重要視されました。『法蓮抄』に「夫法華經は一代聖教の骨髓なり。自我偈は二十八品のたましひなり。三世の諸仏は壽量品を命とし、十方の菩薩も自我偈を眼目とす。」と述べられ、お釈迦さまご一生の教える中心は法華經であり、その中でも寿量品の自我偈の部分が法華經二十八品の真髓を説き顕わしたものであるから、全仏教中の最高位置を占めるべきものであるとみられたのです。

自我偈とは如來壽量品の偈文の部分をさしています。〔偈〕とは偈陀の略でつまり經論の文の一段、または全文の終りに仏の功德や教理を讚歎して詩句の形式にて述べるもので、偈文の初まりが「自我偈來」とあるので、初めの二字をとつて「自我偈」といいます。又、お釈迦さまの久遠実成(永遠の命)を説き顕わしていることから「久遠偈」ともいいます。

お釈迦さまご一生の教える中心は法華經であり、その中でも寿量品の自我偈の部分が法華經二十八品の真髓を説き顕わしたものであるから、全仏教中の最高位置を占めるべきものであるとみられたのです。

自我偈とは如來壽量品の偈文の部分をさしています。〔偈〕とは偈陀の略でつまり經論の文の一段、または全文の終りに仏の功德や教理を讚歎して詩句の形式にて述べるもので、偈文の初まりが「自我偈來」とあるので、初めの二字をとつて「自我偈」といいます。又、お釈迦さまの久遠実成(永遠の命)を説き顕わしていることから「久遠偈」ともいいます。

つまり、私が仏になつてから経過した歳月は、到底はかることの出来ないものと言われます。たとえば、川には水が絶えず流れています。そこで、目の前の水面を見つめていますと、数秒前にあつた水は現在はもうありません。今この瞬間に目の前にあつた水は、次の瞬間にはもうないのです。でも川がなくなつたわけではありません。

目の前の川に毒を流せば、下流の魚は死んでしまうでしょうし、かきまわせばその濁りは下流までつづいてゆきます。

今日、命あるものすべてはやがて消えてしまいますが、それはたしかに過去から存在し、未来まで影響を与えてします。だから今現在を大切にしなければならないのです。

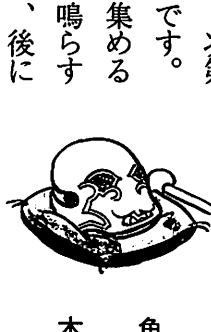
お釈迦さまは、過去から仏であつた自分が、仮に今この世に国王の子として生まれ仏になる修行をして成道することが出来ました。これは全てこの地上の生とし生けるものを救つ為です。

今回より、お寺へ関する質問に答えて参ります。

「お寺へのQ&A」

Qお經の時にたたく木魚と木柾はどこがちがうのですか。また、日蓮宗はどちらを使えばいいのでしょうか。

A木魚は木魚鼓とも言われ、黄檗宗の隱元禪師(一六〇〇年頃)がわが国に木魚を伝えて以来、次第に流行したのです。

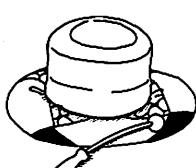


木魚

元来、衆人を集める時にたたいて鳴らす道具でしたが、後に読經の調子をとるためにうつようになりました。木魚の形から魚が昼夜の別なく眼をさましている事から、私達凡夫の怠情、惰眠を戒めるとも言われております。

木柾は、明治の初めに愛知県で念佛門で用いる伏鉢をヒントにして考案されて、身延でも使われるようになり全国に広まりました。木柾のかたくてキレのよい音が修法の際のお經の早読みによく合うところから「日蓮宗のお經は木柾で読むもの」と思われてますが、木柾を必ず使わなければならぬことは限りません。

木魚と木柾の特質をよく心得て、使い分け下さい。



木魚

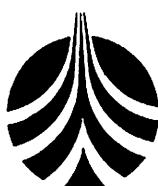
創業明治22年

旅館

あけぼの

佐賀市中ノ小路3-10 ☎ (0952) 24-8181

手を合わせるこころを大切に...
山木化粧
佐賀市呉服元町10-12 23-4308
TEL 0840-0824 ☎ (0952)



寺院紹介（十二）

《浦寺山妙海寺》



みやもとちしょう
宮本智昭住職

多久市東多久町仁位所

上人で別府多久家等の外護を受けながら寺門の興隆をみました。

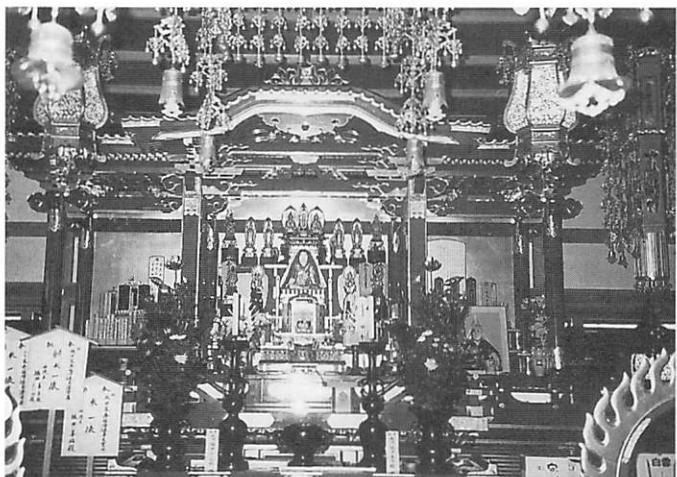
明治二十六年の台風で本堂が倒壊しましたが翌二十七年に三十七世日久上人により再建されました。

昭和三年、第四十一世日静上人代に

本堂鬼子母尊神堂を改築し、又上人自ら行願をたて正中山大荒行堂に入行して現在の妙海寺の礎を築かれました。

先代第四十三世、日淳上人代に老柄化した本堂・庫裏の建て替え事業に着手し、平成四年本堂内陣工事竣工。途

中日淳上人の突然の遷化にありました
が、現住職、智昭上人が受け継ぎ庫裏
新築・境内地整備事業を竣工させ、平
成六年落慶式を行い現在に至っています。
【寺宝】
〔鰐口〕
佛堂や社殿の軒下につるしてあり、
参詣者は布で編んだ網を振り動かして
打ち鳴らす物で金鼓とも云います。妙
海寺の鰐口は両耳に唐草模様が施され、
江戸元禄期に蔵富氏より寄進されたと
の銘があり、多久市の文化財に指定さ
れています。



〈妙海寺の御宝前〉



〈妙海寺の鰐口〉



仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工
拝む心で尊い品を

梅谷佛具店
TEL 092-271-0456

本店 〒812 福岡市博多区下川端町10-9
-0027 (地下鉄中洲川端駅下車)

支店 〒819 福岡市西区周船寺3-9-4
-0373

フリーダイヤル
0120-39-0456

TEL 092-806-7499

通産大臣認可 7産第2930号
株式会社 冠婚葬祭こころの会



三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633

こころの会指定店

総合葬祭

有限
会社

黄城

小城町270 ☎73-3938・FAX72-3633

フリーダイヤル

0120-39-0456

TEL 092-806-7499